

Syllabus Id	syl-121461
Subject Id	sub-121007560
作成年月日	2012年3月20日
授業科目名	ドイツ語演習Ⅱ (German Language Seminar Ⅱ)
担当教員名	杉山和子
対象クラス	4年全工学科
単位数	1履修単位
必修／選択	自由選択
開講時期	後期
授業区分	語学
授業形態	講義
実施場所	選択制教室3・4

授業の概要(本教科の工学的、社会的あるいは産業的意味)

「ドイツ語Ⅰ」の授業では、ドイツ語の学習を通じてドイツ文化・ヨーロッパ文化を学ぶことを主眼に置いているが、本授業では、ドイツ語それ自体に興味のある学生に対し、初級ドイツ文法後半を「演習」を通じて体系的に修得させる。原則として4年前期に「ドイツ語演習Ⅰ」を受講し、単位を修得した学生を対象とする。

準備学習(この授業を受講するときに前提となる知識)

「ドイツ語演習Ⅰ」の範囲の文法知識・語彙等

学習・教育目標	Weight	目標	
		A	工学倫理の自覚と多面的考察力の養成
		B	社会要請に応えられる工学基礎学力の養成
		C	工学専門知識の創造的活用能力の養成
	◎	D	国際的な受信・発信能力の養成
	E	産業現場における実務への対応能力と、自覚的に自己研鑽を継続できる能力の養成	

学習・教育目標の達成度検査

1. 該当する学習・教育目標についての達成度検査を、年度末の目標達成度試験を持って行う。
2. プログラム教科目の修得と、目標達成度試験の合格を持って当該する学習・教育目標の達成とする。
3. 目標達成度試験の実施要領は別に定める。

授業目標

ドイツ語技能検定試験4級または3級に合格する程度の文法知識を修得させることを目標とする。

授業計画(プログラム授業は原則としてプログラム教員が自由に参観できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)

回	メインテーマ	サブテーマ	参観
第1回	オリエンテーション9課 独検演習	授業概要・目標・評価方法と基準、等の説明 独検4級問題演習 ・数詞(1)基数	
第2回	10課	・形容詞	
第3回	10課	・現在分詞の用法 ・疑問代名詞 welcher と was fuer ein	
第4回	11課	・動詞の三基本形 ・過去分詞の用法	
第5回	11課12課	・動詞の三基本形 ・過去分詞の用法 ・過去形 ・未来形	
第6回	12課	・過去形 ・未来形 ・現在完了 ・過去完了	
第7回	中間試験		
第8回	13課	答案返却 ・指示代名詞 ・不定代名詞 ・再帰代名詞 ・再帰動詞	×
第9回	13課14課	・再帰代名詞 ・再帰動詞 ・受動	
第10回	14課	・esの用法(1)形式上の主語としてのes	
第11回	15課	・関係代名詞	
第12回	16課	・形容詞・副詞の比較級・最上級	
第13回	16課	・不定詞の用法	
第14回	17課	・esの用法(2)後続の語句を先取りするes ・数詞(2)序数	
第15回	18課	・接続法	
第16回	答案返却 独検	答案返却 独検3級問題演習	×

課題

特になし

オフィスアワー:水・木曜日(時間は要予約) 非常勤講師室

評価方法と基準

評価方法:

中間試験と期末試験との平均点で評価する

評価基準:

中間試験50%、期末試験50%

教科書等	練習中心・初級ドイツ文法（コンパクト版）、中島・平尾・朝倉、白水社
先修科目	ドイツ語演習Ⅰ、ドイツ語Ⅰ（前期）
関連サイトのURL	東京ドイツ文化センター http://www.goethe.de/tokyo
授業アンケートへの対応	受講生間の学力差に配慮したい。
備考	1.試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2.授業参観されるプログラム教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。